

旧東京陸軍第二造兵廠建物群(東京家政大学構内)

(きゅうとうきょうりくぐん だいにぞうへいしょうたてもものぐん(とうきょうかせいだいがく こうない))

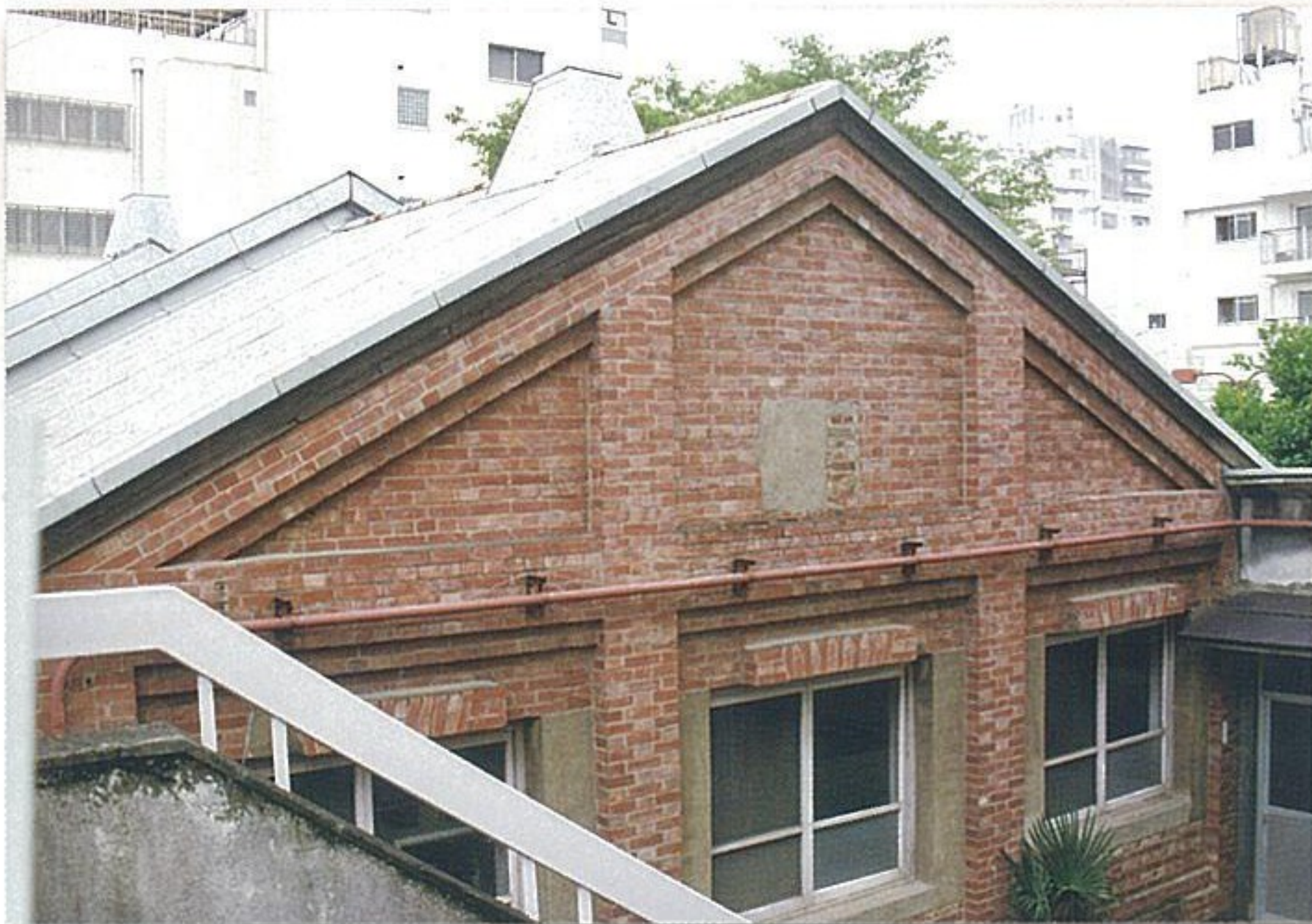
板橋区登録有形文化財(建造物) 平成20年5月13日登録

明治9年(1876)、旧加賀藩下屋敷の一部(現:加賀一・二丁目)に、陸軍の西洋式火薬製造工場が建築され、操業を開始しました。その後何度かの組織変更を経て、東京第二陸軍造兵廠板橋製造所板橋工場(通称二造)として終戦を迎えました。

戦後、旧二造は連合国への賠償物件に指定される一方、大蔵省の管理のもと、旧二造の土地建物については、民間工場や学校として使用されることとなりました。

東京家政大学は、明治14年に渡辺辰五郎が開いた裁縫塾を淵源^{えんげん}とします。戦災で本郷周辺の校舎を失い、昭和21年に旧二造構内の現在地に入居、同38年に国より土地建物の払下げを受けています。その後、今日に至るまで順次新校舎への建替が行われていますが、二造時代の建物がなお3棟現存しています。

これら3棟の建物は、大正12年(1923)の二造構内図に確認されていることから、明治後期の工場拡張期から大正期にかけて建築された建物と推定されます。



所在地: 板橋区加賀 1-18-1 東京家政大学構内

交通: 都営三田線「板橋区役所前駅」徒歩14分

国際興業バス「区境」徒歩2分 [板橋駅⇄王子駅(王22・王22-2)]